

【決算ハイライト】

- ①2015年度上期決算について
  - ・売上高は171.9億円(+2.9%)、経常利益は5.0億円(+14.9%)。 →カッコ内は前年同期比
  - ・自動車・金融を中心に一般顧客向けの好調により、売上高・経常利益とも対前期実績で増加。
  - ・通期業績目標の達成に向けて順調に進捗。
- ②2015年度通期業績見通しについて
  - ・通期見通しは当初計画どおり変更なし。
- ③中期経営計画の進捗について
  - ・中期計画の重点課題である製鉄所システム刷新プロジェクト、ソリューション事業の拡大、基盤サービス事業の拡大について着実に進捗中。
  - ・製鉄所システム刷新については事前検討・パイロット開発に着手し、順調に活動をスタート。
  - ・ソリューション事業の拡大では、営業支援分野でセールスフォース・ドットコムと提携。
  - ・基盤サービス事業では「JGranz IaaS®」をJFEグループ会社向けに拡販中。  
また、中小規模の食品メーカー様を対象とした「Mercurius クラウド™」をリリース。

【質疑応答】

Q: 製鉄所刷新プロジェクトの見通しは。

A: スケジュールは現在検討中であり、完了時期は未定。

Q: 食品事業の新サービス「Mercurius クラウド™」で中小規模の食品メーカーを取り込むことによる効果は。

A: 当社のシェアを更に拡大することで、デファクトスタンダードとなることを目指したい。

Q: 今後中国経済が減速した場合、どの程度の影響を見込んでいるのか。

A: 今後、輸出比率の高いお客様が影響を受けるようなことがあれば、間接的に当社にも影響が及ぶことが考えられるが、現時点で具体的な影響は無い。

Q: 売上高総利益率が対前年上期実績比で0.3%低下した理由は。

A: 製鉄所システムリフレッシュ案件への先行投資による費用を織込んでいる。

Q: 上期業績が上ぶれた一方、通期見通しは変更なしだが、どのような状況か。

通期見通しを固めに見ているということか。

A: 上期上ぶれの要因が、下期に売上を予定していた高採算案件の前倒しであったため、通期見通しを据え置きとした。

以上